

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第141号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年7月28日 06時50分ごろ（発見）	
発生場所	長崎県五島市 福江港2号防波堤灯台から真方位190° 1,100m付近（概位 北緯32° 41.49′ 東経128° 51.1′）	
事故等調査の経過	平成21年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 第三十八 ^{きょうとく} 協徳丸、199トン 船舶番号、船舶所有者等 131285、五島汽船協業組合	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船首約1.8m、船尾約3.2mの喫水で福江港内荷揚げ岸壁に着岸して乗組員は離船した。翌日、荷揚げ準備のため本船に赴いた船長は、平成21年7月28日06時50分ごろ、船体が海底に乗り揚げているのを認めた。</p> <p>低潮時だったため、しばらく待機し、船底が海底から離れたのを確認したのち、08時ごろから荷揚げを開始し、船底に異常がないことを確認して空船で出港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 静穏 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、福江港内の着岸場所の水深を把握していなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が福江港内の岸壁に着岸する際、着岸場所の水深を把握していなかったため、海底に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	